ウルグアイ内政・外交報告（２０１５年３月）

１　内政

（１）１日，バスケス大統領の就任式が行われた。

（２）５日付で大統領府より国会に対し，バスケス政権発足後最初の法案が提出された。

（３）２７日，改正分権化・市民参加法が公布された。

２　外交

（１）１日，谷特派大使が大統領就任式に出席した。

（２）２日，谷特派大使がバスケス大統領と会談した。

（３）２日，バスケス大統領がラウル・カストロ・キューバ国家評議会議長と会談した。

（４）６日，ニン・ノボア外相がアルゼンチンを訪問し，ティメルマン外相と会談した。

（５）１４日，ニン・ノボア外相がエクアドルのキトにて開催された南米諸国連合（ＵＮＡＳＵＲ）外相審議会臨時会合に出席し議長を務めた。

（６）１８日，ルイス・アルマグロ前外相がＯＡＳ次期事務総長に選出された。

３　治安

（１）内相の方針に反対する一部警察官らが勤務を拒否，一時警ら業務に支障を来した。

（２）偽の誘拐事件を騙り身代金を要求する犯罪があり要注意。

（３）オンライン情報の監視システム「グアルディアン」導入計画が進行中。

（４）警ら活動強化のため騎馬警察隊が導入される。

（５）ウルグアイは人口当たり警察官の数がラテンアメリカで最も多い。